

結いの会に行った感想・・・

結いの会に行ってきました。先週の金曜日の3,4時間目のことです。目的は、学級通信52号でお知らせたとおりです。振り返りの感想から、主だった内容を書きましょう。今回は名前はなして書かせていただきます。

【困ったり、はずかしかったり、あきってしまったこと】では

まとめると「だれと話すか決めるとき」「話題がなくなったとき」「自分から話しかけるとき」「話している内容がわからないとき」「声が伝わらないとき」「聞こえてこないとき」「顔を合わせたり手を触れたりするとき」でした。

最初に何を話したらいいか困ってしまいました。だから話すときはいつも、おばあさんの方でした。初めてあって話したので、何を話していいのかわからなかったし、どういふふうに話したらいいのかわからなくてはずかしかったです。正座をしていたので、足がびびり立つときに困ってしまいました。はじめに何を話せばいいのかわかりませんでした。一緒に話していた、ちゃんから話してくれてうれしかったです。困ったことは、はじめどのおばあちゃんにしようかなと思ったことと、話す内容が見つからなかったことです。ぼくは、途中であきたり、どんなお話をしたらいいのかなあと困ったところです。やっぱりお年寄り話すのははずかしいです。やってみたらうちとけました。最初あったときに、何から話し始めるか迷いました。でもお年寄りの人が、話し始めてくれたのでよかったです。おじいちゃんとあんまりはなししたりしないので、めっちゃくちゃはずかしくて、あくびも1回もできませんでした。私はお年寄りとあまりしゃべることができないので、さんにたのんで少ししゃべってもらいました。おとしよりは大きな声で言わないといけなくて、少し困りました。困ったことは、話すことがなくなったことです。先に話すときにははずかしかったです。私が困ったことは、お年寄り話す言葉がなかなか見つからなかったことです。なので、私は、お年寄りに質問を4つしかできませんでした。あたりはしませんでした。お年寄りの顔を見て話すときにははずかしかったです。話している途中によくわからない言葉を使ったので、困りました。耳が遠いので、そんなに話ができなかったです。焦ったのは、考えるのが時間がかかったことです。はずかしかったことは、ありません。どきどきしたことは、いきなり隣のおばあちゃんが声をかけてきたときです。ぼくは行くまでは、うまく話す自信があったのですが、実際にはうまく話せませんでした。途中で何を話していいのかわからなくなって、回りのいっしょに話している人を見てばかりで、あまり話ができませんでした。楽しいとは言えない感じでした。今日は、ゆいの会でとても話ができない状態で、とてもたいへんでした。途中であきて、こそこそ足をうごかしたり、キョロキョロよそ見をしたりしてしまいました。話したことは、皆の家はどんな家だったんですか？と・・・

【よかったこと、楽しかったこと】として

まとめると皆の楽しい、あるいは初めての話、「特に戦争の話」、話することができたことそのもの、「相手を知り、自分のことを知ってもらったこと」でした。

私は、前さんと話して楽しかったのは、好きな食べ物は何か聞いていたときです。前さんはえいようのために、なんでも食べる」と言っていました。私は、好き嫌いがいっぱいあるのにすごいと思いました。さんは、生まれたとき、台湾にいたそうです。二歳から戦争のやつに入っていたそうです。そのときすごいなあと思っていました。日本に来たわけは、戦争がいやになったからだそうです。さんは、83歳だそうです。話し相手に、さんを決めたのは、最初に挨拶するとき、ぼくを見ていたからです。よかったことは、自分で思ったより、たくさん楽しい話ができたとわかって、笑顔で話せたことです。それに、さんは、最後に涙を流されました。私はとてもうれしかったです。なぜって、さんはうれしくて涙をはがしたのです。楽しんでうれしんでもらってよかったです。お話をいっぱいしました。大爆笑でした。さんに握られた手は一生忘れられません。ありがとうございます。よかったことは、いろいろなことを知れたからです。たとえば、附小はもと中学校だったと言うことです。隣にいたくんは、とちゅうあしがびりておばあちゃんに治らせてもらっていました。楽しかったことは、昔には、ないものがいっぱいあるんだなあと感じていたのしいなあと感じるようになりました。まよっていたら、おばあちゃんがこっちへおいでと行ってくれたのでうれしかった。楽しかったことは、長い時間お年寄りと一緒に話ができたとです。なぜ楽しかったかといういろいろなことをおしえてくれたからです。たとえば、昔は、どのような遊びをしていたかをおしえてくれました。囲碁ができるので囲碁ができる人がいたら相手をしてほしい。ぼくの知らない国の話がでてうれしかったです。30分話が続けられたことがうれしかったです。一番おもしろかったのは、おじいさんが小学校のころの昼休みの話です。おじいさんが小学校のころの昼休みは45分もあったそうです。そのかわり給食がなかったので学校から家までいったん帰って昼ご飯を食べて学校に行って遊んだそうです。ぼくは大変だなあと思いました。それから戦争のことを話してくれました。おじいさんはそのころ中学生だったけど、軍需工場で働いていたそうです。おばあさんも名古屋の軍需工場で働いていたそうです。そのころは、切符がないと食べ物食べられなかったと聞いてびっくりしました。肉は1ヶ月に1回しか食べられなかったそうです。次は、ぼくが学校生活のことを話してあげたいです。